v5
R3

ユーザーガイド

INSIGNIA™

1000万画素デジタルカメラ
NS-DSC10A/NS-DSC10B/NS-DSC10G

内容

はじめに 1

安全に関するインフォメーション 1

機能 1

- パッケージ内容 1
- 主な機能 1
- 前面 1
- 背面 2
- 上面、底面、側面 2
- ランプと操作音インジケーター 3

カメラを設定する 3

- 電池を取り付ける 3
- リストストラップを取り付ける 4
- カメラのメモリーについて 4
- メニューを使って設定する 4
- シンプルモード 5
- 初期設定 5
- カメラモードについて 5
- 液晶モニターについて 6
- アイコン表示 (OSD) を変更する 7

カメラを使う 8

- 基本操作 8
- 静止画を撮影する 8
- ズームを設定する 8
- フラッシュを使う 9
- セルフタイマーを使う 9
- マクロ機能を使う 10
- 顔認識を使う 10
- モードを変える 10
- 動画を撮影する 10

メニューを使う 11

- 撮影メニューを使う 11

静止画や動画を見る 12

- 静止画を見る 12
- 再生モードで画像をズームする 12
- 動画を再生する 12

静止画や動画を削除する 13

- ファイルを削除する 13

再生 メニューを使う 13

- 静止画や動画を削除する 13
- 動画や静止画をメモリーカードにコピーする 14

セットアップ と ツール メニューを使う 14

- セットアップメニューを使う 14
- 電力節約を設定する 16
- ツールメニューを使う 16

接続する 18
カメラをパソコンに接続する 18
トラブルシューティング 18
仕様 19
付録 20
フォルダーとファイル名について 20
法的通知 20
FCC 第 15 部 20
FCC 警告 20
カナダ ICES-003 記述 20

Insignia NS-DSC10A、NS-DSC10B、および NS-DSC10G
1000万画素デジタルカメラ

はじめに

Insigniaデジタルカメラをお買い上げいただき、ありがとうございます。本製品は高信頼性の設計により安心してお使いいただけます。

安全に関するインフォメーション

正三角形に感嘆符が入った記号は、カメラの使用説明書の中で、操作やメンテナンス(サービス)に関する重要な指示を表わしています。

カメラをご使用になる前に、次の安全に関する注意を読んでよく理解してください。カメラは常に正しく操作してください。

- カメラを、太陽などの強い光源に向けないでください。視力障害の原因となることがあります。
- カメラの分解や改造はしないでください。高電圧の内部部品が露出されると、感電の危険があります。メンテナンスや修理は、認可を受けたサービス機関に依頼してください。
- フラッシュは、動物や人、特に乳幼児の目に近づけて発光しないでください。視力障害などの原因になることがあります。フラッシュを使うときは、乳幼児から3フィート(1m)以上離すようにしてください。
- カメラは、水やその他の液体に近づけないようにしてください。濡れた手でカメラを使用しないでください。雨や雪が降っているときにカメラを使用しないでください。水分が原因で感電することがあります。
- カメラへの損傷や事故を防ぐために、カメラや付属品は子供や動物の手の届くところに置かないでください。
- カメラから煙がでてきたり異常な臭いがするときは、直ちに電源を切ってください。お買い上げの販売店までご連絡ください。
- 電源付属品は、必ず推奨製品を使用してください。このカメラ用に明確に推奨されているもの以外の電源を使うと、過熱、機器の変形、火事、感電、その他の危険を引き起こすことがあります。
- ストラップを持ってカメラを振り回すことはしないでください。

機能

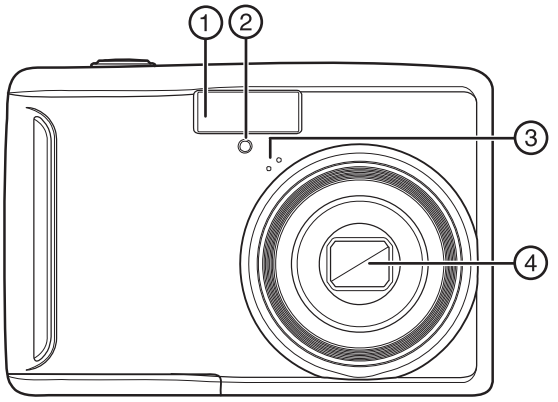
パッケージ内容

- 1000万画素デジタルカメラ
- 単三電池2個
- リストストラップ
- USB ケーブル
- ユーザーガイドCD
- クイックスタートガイド

主な機能

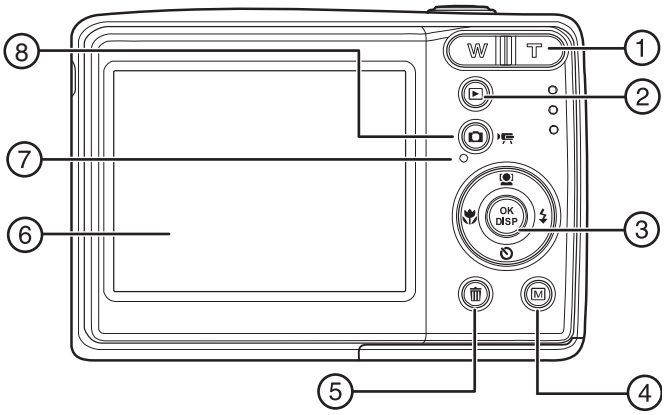
- 1000万画素解像度（有効な画素998万画素）
- 光学3倍ズーム、デジタル4倍ズーム
- 1/2.3インチ画像センサー
- 2.5インチカラー液晶モニター
- 32MB内蔵フラッシュメモリー(静止画と動画の記録に約20 MB使用できる)
- 最高4GBまでのSDカードおよび最高16GBまでのSDHCカードをサポート
- シンプルなユーザーメニュー
- 静止画や動画をパソコンに転送するUSB端子

前面



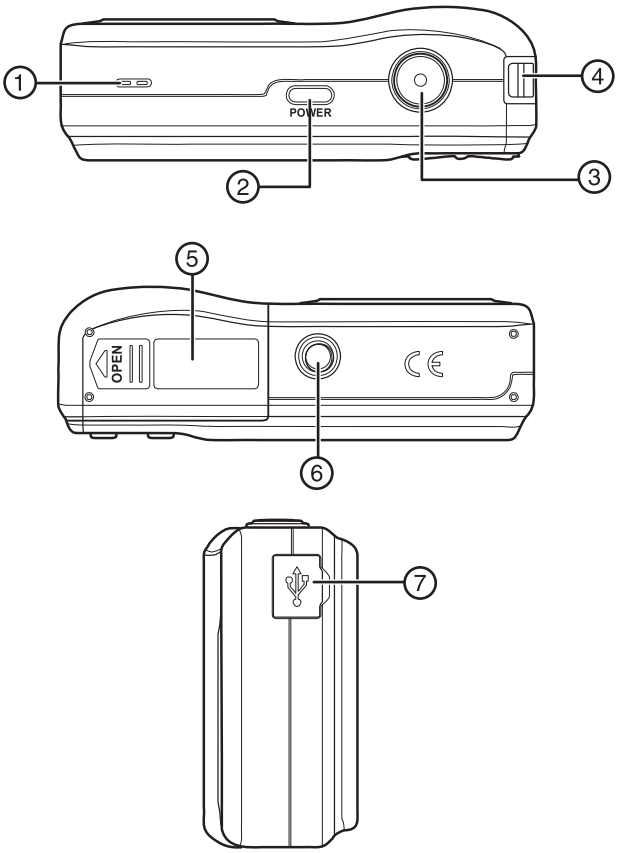
#	部品	説明
1	フラッシュ	暗い場所での撮影を可能にします。
2	セルフタイマーランプ	セルフタイマーを使っているときに点滅します。
3	マイク	動画撮影時に音声を録音します。
4	レンズ	静止画/動画の撮影時に使用します。

背面



#	部品	説明
1	ズームボタン	静止画や動画をズームインして大きく撮るには**T**を押します。ズームアウトして広く撮るには、**W**を押してください。
2	再生ボタン	押すと、撮った静止画/動画を見ることができます。
3	OK/DISPと方向ボタン	撮影または再生モードで押すと、液晶モニターの表示を変えることができます。 メニューモードで押すと、設定を確認します。 方向ボタンでメニューを操作し、設定を変更します。
4	メニューボタン	押すとカメラのメニュー画面が表示され、カメラの設定を変更できます。
5	消去ボタン	押すと、静止画または動画を削除します。
6	液晶モニター	静止画を構図し、様々なメニューをみることができます。
7	操作 ランプ	カメラが「オン」になっていると緑のライトが点きます。3ページの"ランプと操作音インジケーター"をご覧ください。
8	撮影モードボタン	押すと、静止画と動画の撮影が切り替わります。

上面、底面、側面



#	ボタン	説明
1	スピーカー	動画撮影時に録音した音声を聞くことができます。
2	電源ボタン	押すと、カメラが「オン」になります。
3	シャッターボタン	押すと、静止画または動画を撮影します。
4	ストラップリング	ストラップ(付属品)をこのリングに取り付けます。
5	バッテリーカバー	スライドして開けると、電池とメモリーカード(別売)が入ります。
6	三脚取付穴	カメラを三脚に取り付けるのに使います。
7	USB端子	カメラをパソコンに接続するのに使います。

ランプと操作音インジケーター

カメラは次の2つの方法で、動作状況をお知らせします。

- ランプインジケーター
- 操作音インジケーター

ランプインジケーター

カメラにはランプインジケーターが2個ついています。

- 操作ランプは、カメラの背面についています。操作ランプの場所は、2ページの "背面" をご覧ください。
- セルフタイマーランプは、カメラの前面についています。セルフタイマーランプの場所は、1ページの "前面"をご覧ください。

ランプ	ランプの状態	カメラの状態
操作	0ff	電源が「オフ」
	緑(点灯)	電源が「オン」で、静止画や動画の撮影・再生ができる状態です。
	緑 (小刻みに点滅)	データの処理（記録/削減/コピー /転送）などでカメラが作動中の状態です。
	緑 (ゆっくり点滅)	動画撮影中/フラッシュの充電中/AFエラーの状態です。
セルフタイマー	0ff	セルフタイマー「オフ」
	黄(点滅)	セルフタイマーの秒読みがセットされています。撮影時に近づくと、ランプはだんだん速く点滅するようになります。

操作音インジケーター

カメラには、操作時に音をだす機能が備わっています。

操作音インジケーター	カメラの状態
ブザー音1回	録画などの操作が始まった。また、メニュー使用や各種設定操作時にも鳴ります。
ブザー音2回	操作が完了した。
ブザー音3回	バッテリー残量が少ないなどの警告。メモリーの空きがない、またはカードエラーなどのエラーメッセージがでたときにも鳴ります。
セルフタイマー時のブザー音	撮影10秒～4秒前；1秒毎にブザー音が鳴ります。撮影3秒前～撮影時；1/2秒毎にブザー音が鳴ります。
シャッター音	画像を撮影しました。

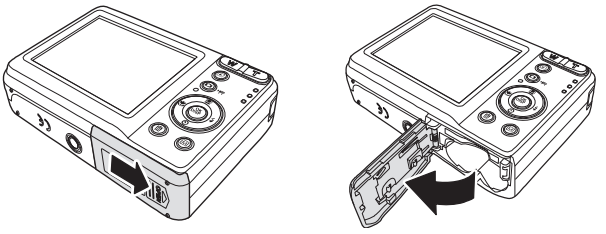
カメラを設定する

電池を取り付ける

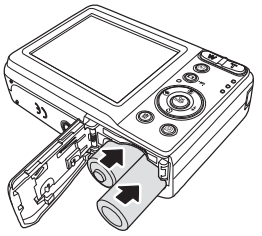
電池を取り付ける:

1 カメラの電源が入っていないことを確認してください。

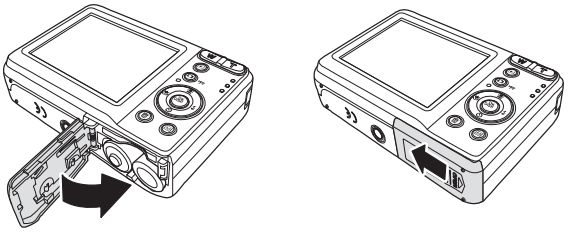
2 バッテリーカバーを図の矢印の方向に滑らせて、開けてください。



3 単三電池をバッテリー挿入部に2個入れます。電池の + ・ - は内側のイラストに合わせて入れてください。



4 バッテリーカバーを閉めます。



5 電池を交換したときには、メニュー画面の「電池の種類」を開き、本機の設定を交換した電池の種類と同じになるように再設定してください。（17P:「電池の種類を選ぶ」を参照）

警告

このカメラには、アルカリ、ニッケル水素、またはリチウム電池を使ってください。それ以外の電池を使うと、カメラに損傷がおきたり人が怪我をすることがあります。

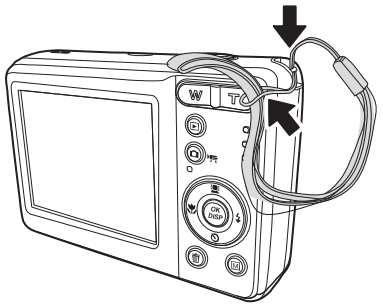
注

- バッテリーの残量がほとんどなくなると、液晶モニターにバッテリー残量がほとんどない という表示がでてきます。この表示がでてきたら、すぐに電池を交換してください。
- 別の種類の電池と混ぜないでください。
- 古い電池と新しい電池をいっしょに使わないでください。
- バッテリー残量がなくなったら、電池を取り出してください。
- 電池に含まれている化学薬品は、発疹の原因となることがあります。電池がもれていたら、バッテリー挿入部を布で拭いてください。化学薬品が肌についてしまったら、すぐに洗い流してください。
- カメラを長期間使わない場合には、電池を外しておいてください。
- カメラを長時間使った後は、カメラの本体が温まってしまうこともあります。これは普通です。

リストストラップを取り付ける

リストストラップを取り付ける:

1 ストラップの小さい方の輪を、ストラップ用小穴に入れてください。



2 ストラップの大きい方の輪を小さい輪に入れて、引っ張ります。

カメラのメモリーについて

内蔵メモリー

このカメラには32MBの内蔵メモリーがついていて、そのうちの約20MBは静止画/動画の記録に使用できます。カメラにメモリーカードが入っていない場合、カメラで撮った静止画や動画はこのメモリーに保存されます。

外部メモリー

このカメラは、最高4GBまでのSDカードおよび最高16GBまでのSDHCカードをサポートします。メモリースロットにこれらのカードが入っていると、動画や静止画は自動的にこれらのカードに保存されます。アイコンは、カメラがメモリーカードを使っていることを表わしています。

メモリーカードを取り付ける

このカメラでは、SDまたはSDHC メモリカードが使用できます。メモリーカードスロットは、バッテリーカバー内側のバッテリー挿入部内にあります。

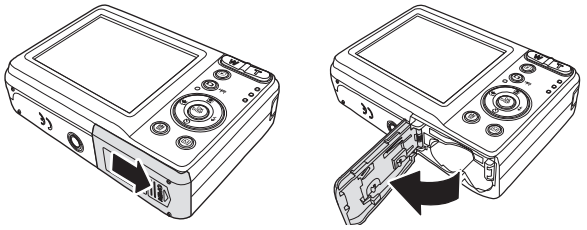
注意

- カメラが「オン」の状態でメモリーカードを取り出すと、損傷の原因になります。
- メモリーカードの裏側にある接点には触れないでください。

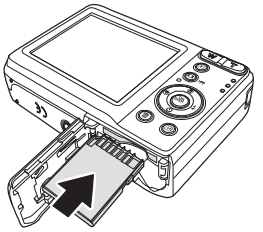
メモリーカードを取り付ける:

1 カメラの電源を「オフ」にします。

2 バッテリーカバーを図の矢印の方向に滑らせて、開けてください。

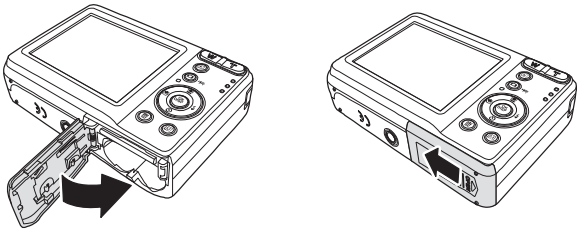


3 SDまたはSDHCカードをスロットに差し込みます。カードの金属部分をカメラの背面に向け、コネクターの部分をカメラの奥に向けて入れてください。



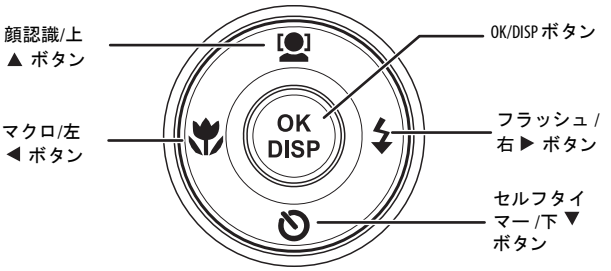
カードを取り出すには、カードを軽く押し込んでください。

4 バッテリーカバーを閉めます。



メニューを使って設定する

4方向ボタンと **OK/DISP** ボタンを使って、オンスクリーン・ディスプレー (OSD)から様々なメニューにアクセスすることができます。静止画や動画を最適な状態で撮るために、様々な設定ができるようになっています。



ボタン機能の詳細は次の通りです:

ボタン	機能
OK / DISP	• メニュー画面で各種設定時に押すと選択した項目で決定します。 • 再生または撮影モードで押すと、液晶モニターにでているアイコンを表示したり隠したりできます。 **注**: **OK/DISP** ボタンは、動画再生中は使用できません。
フラッシュ / 右 (▶)	• 撮影モードで押すと、フラッシュのモードを選択できます。(オート、赤目軽減、強制オン、スローシンク、オフ) **注**:フラッシュモードは静止画撮影時にのみ使用できます。 • 再生モードで押すと、次の画像や動画クリップにいきます。 • 動画再生モードで押すと、動画の再生を早送りします。 • メニューモードで押すと、サブメニューに入るか、またはメニューの選択項目を見ることができます。

ボタン	機能
マクロ/左(◀)	• 撮影モードで押すと、マクロを「オン」/「オフ」にします。 **注**:マクロモードは静止画撮影時にのみ使用できます。 • 再生モードで押すと、前の画像や動画クリップにいきます。 • 動画再生モードで押すと、動画を巻き戻します。 • メニューモードで押すと、サブメニューからでます。
顔認識/上(▲)	• 撮影モードで押すと、顔認識機能を「オン」/「オフ」にします。 **注**:顔認識は静止画撮影時にのみ使用できます。 • メニューモードで押すと、メニューとサブメニューを見ることができます。 • 動画再生/音声モードで押すと、動画の再生を開始/一時停止します。
セルフタイマー/下(▼)	• 撮影モード(静止画)で押すと、セルフタイマーを「オン」/「オフ」にします。 • メニューモードで押すと、メニューとサブメニューを見ることができます。 • 動画再生/音声モードで押すと、動画の再生を停止します。

簡略モード

工場出荷時は、簡略モードになっています。簡略モードでは、時刻設定など一般的に使用頻度が少ないとされるメニューを表示しませんが、高画質な写真や動画を撮影できます。

簡略モードを使う:

1. **POWER** ボタンを押してカメラの電源を「オン」にします。
2. 撮影モードボタンを押してください。
3. メニューボタン Ⓜ を押して、スクリーンメニューを開きます。
4. 右 ▶ または左 ◀ を押してセットアップメニュー を選択してください。
5. 上 ▲ または下 ▼ を押して **簡略モード** を選び、次に ▶ または **OK/DISP** を押してサブメニューを開きます。

6. 上 ▲ または下 ▼ を押して、**On** または **Off** を選んでください。
7. **OK/DISP** を押して、設定を保存して出ます。

初期設定

カメラの表示言語および日付や時刻は、静止画や動画を撮影する前に設定してください。

日付と時刻を設定する:

1. 電源を「オン」にします。**メニュー** ボタンを押して、カメラの設定メニューに入ります。
2. ▶ を押して **セットアップ** タブを選びます。
3. ▲▼ を押して **簡略モード** を選択し、**OK/DISP** ボタンを押してください。サブメニューがを表示されます。
4. ▲▼を押して**Off** を選択し、**OK/DISP** ボタンを押してください。簡略モードが**Off** になりアドバンスメニューが表示されます。
5. ▲を押して**日付&時刻**を選び、次に **OK/DISP** を押して日付と時刻を設定します。

6. ▼、▲、◀または ▶ を押して日付や時刻を調節します。終わったら **OK/DISP** を押してください。

表示言語を選ぶ

1. ▲ を押して**セットアップ** タブにカーソルを合わせ、次に▶ を押してツールタブ を選んでください。
2. ▼を押して **言語** を選びます。
3. **OK/DISP** を押して 言語 サブメニューを選んでください。▲または▼を押して、希望の言語を選んでください。言語を選んだら、**OK/DISP**を押します。
4. ▲ を押して**ツール** タブ にカーソルを合わせ、次に ◀ を押して **セットアップ** タブ を選びます。
5. ▼ を押して **簡略モード** を選び、次に **OK/DISP** を押して *簡略モード* サブメニューを開きます。簡略モードを **On**にしてください。
6. **メニュー** ボタンを押して、撮影モードに戻ります。これで、静止画または動画が撮影できるようになりました。

注

電池を48 時間以上取り出しておいた場合は、日付と時刻を再設定してください。

カメラモードについて

このカメラには主なモードが2つあります:

撮影モード

撮影 モードは、静止画や動画の撮影に使用します。

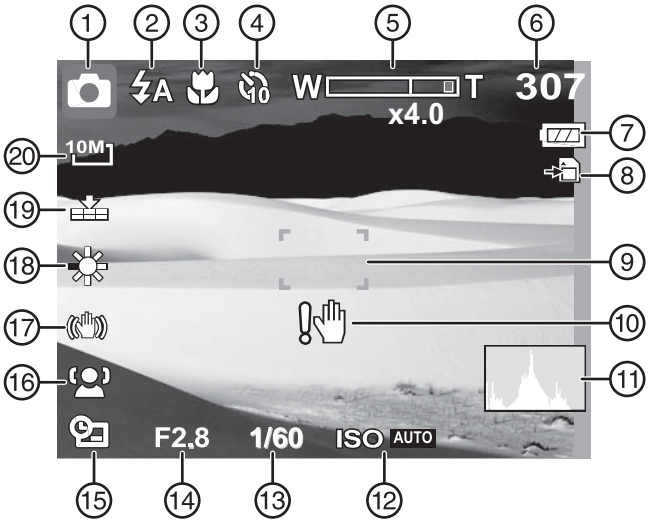
再生モード

再生 モードは、撮った静止画や動画を見るときに使います。再生モードボタン ⓟ を押して、カメラを **再生** モードにします。

液晶モニターについて

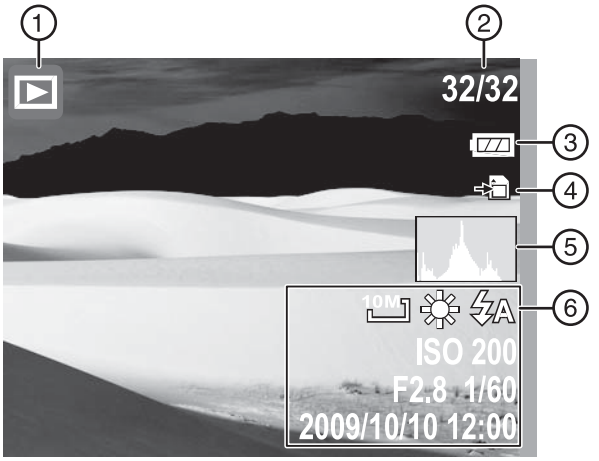
液晶モニターは、カメラに関する重要なインフォメーションや、静止画や動画の画像を表示します。液晶モニターの表示は、オンスクリーン・ディスプレー (OSD)と呼ばれています。

撮影モード画面レイアウト



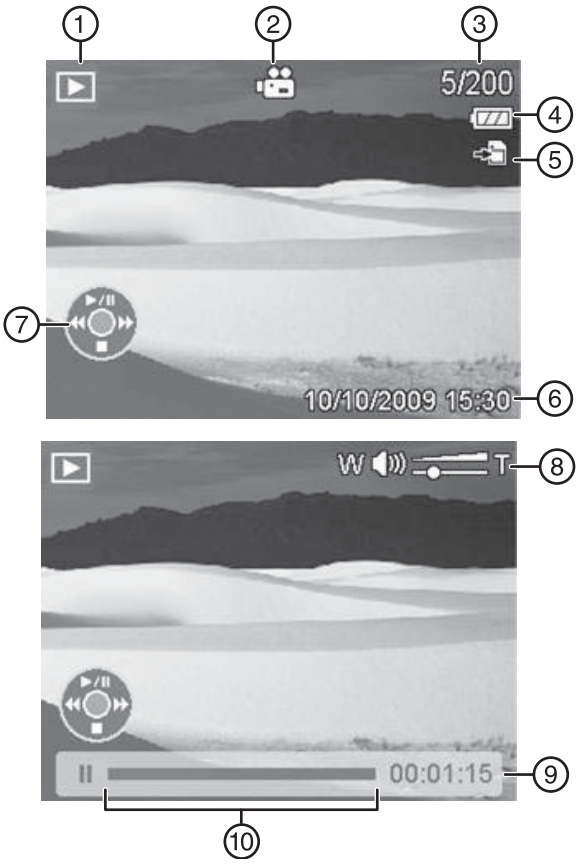
#	機能説明	詳細をみるには...
1	モード	現在のモードを表示します。10ページの“モードを変える”をご覧ください。
2	フラッシュ	フラッシュモードを表示します。9ページの“フラッシュを使う”をご覧ください。
3	マクロ	マクロが「オン」になっていることを表示します。10ページの“マクロ機能を使う”をご覧ください。
4	セルフタイマー	セルフタイマーが「オン」になっていることを表示します。9ページの“セルフタイマーを使う”をご覧ください。
5	ズームインジケーター	現在のズーム設定を表示します。
6	静止画の残り撮影可能枚数	残っている静止画の枚数を表示します。
7	バッテリー残量表示	現在のバッテリー残量を表示します。3ページの“電池を取り付ける”をご覧ください。
8	メモリーカード	メモリーカードが入っていることを表示します。4ページの“メモリーカードを取り付ける”をご覧ください。
9	フォーカスエリア	フォーカスエリアの中心を表示します。8ページの“静止画を撮影する”をご覧ください。
10	手ブレ警告	カメラが振動していることを表示します。8ページの“静止画を撮影する”をご覧ください。
11	ヒストグラム	現在の画像の明るさのレベルをグラフで表示します。
12	ISO	選択したISO設定を表示します。11ページの“ISOを設定する”をご覧ください。
13	シャッタースピード	シャッタースピードの設定を表示します。
14	絞り設定	絞りの設定を表示します。
15	日付スタンプ	日付スタンプが「オン」になっていることを表示します。15ページの“日付スタンプを設定する”をご覧ください。
16	顔認識	顔認識が「オン」になっていることを表示します。10ページの“顔認識を使う”をご覧ください。
17	手ブレ補正	手ブレ補正が「オン」になっていることを表示します。12ページの“手ブレ補正を使う”をご覧ください。
18	白バランス	白バランス（ホワイトバランス）の設定を表示します。12ページの“白バランスを設定する”をご覧ください。
19	画質	画質の設定を表示します。11ページの“画像の質を設定する”をご覧ください。
20	解像度	画像解像度の設定を表示します。11ページの“画像の質を設定する”をご覧ください。

再生モード画面レイアウト



#	機能説明	詳細をみるには...
1	再生モード	再生モードが「オン」になっていることを表示します。10ページの“モードを変える”をご覧ください。
2	再生中の画像の番号/記録されている画像の数	選択したファイル数と使用できるファイルの合計数を表示します。
3	バッテリー残量表示	現在のバッテリー残量を表示します。3ページの“電池を取り付ける”をご覧ください。
4	メモリーカード	メモリーカードが使用されていることを表示します。4ページの“メモリーカードを取り付ける”をご覧ください。
5	ヒストグラム	現在の画像の明るさのレベルをグラフで表示します。
6	再生中の画像の撮影時情報	画像を撮影したときの設定を表示します。

動画再生モード画面レイアウト



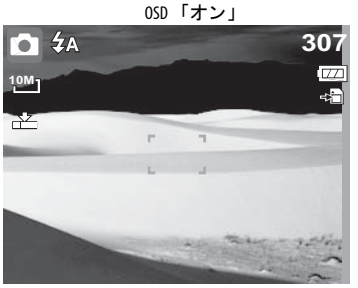
#	機能説明	詳細をみるには...
1	再生モード	再生モードが「オン」になっていることを表示します。10ページの“モードを変える”をご覧ください。
2	動画クリップ	そのファイルが動画クリップであることを表示します。
3	再生中画像の番号/記録されている画像の数	再生中の画像の番号と記録されている画像の総数を表示します。
4	バッテリー残量表示	現在のバッテリー残量を表示します。3ページの“電池を取り付ける”をご覧ください。
5	メモリーカード	メモリーカードが使用されていることを表示します。4ページの“メモリーカードを取り付ける”をご覧ください。
6	日付と時刻表示	画像に記録されている撮影日時を表示します。
7	4方向ボタン	ビデオファイルの再生/一時停止、停止、戻し、早送りなど、4方向ボタンの使用を表示します。
8	音量	現在の音量レベル設定を表示します。
9	再生時間	このバーは、動画再生を開始してからの経過時間を表示します。
10	再生状況	再生している動画クリップの再生状況を表示します。

アイコン 表示 (OSD)を変更する

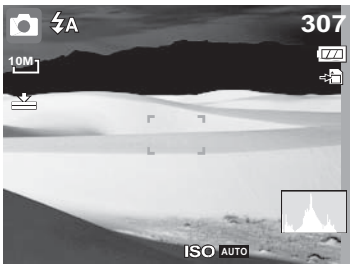
アイコン表示 (OSD) を変更する:

- **OK/DISP** を押すごとにアイコン表示を変更できます。
  - **撮影** モード—

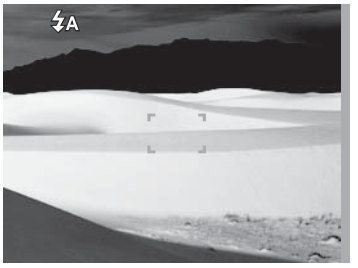
OSD「オン」



フル OSD「オン」



OSD「オフ」



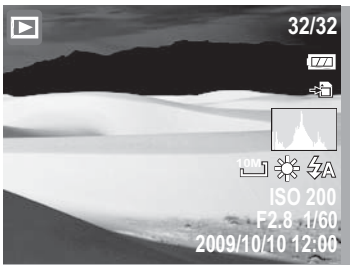
注

アイコン表示は撮影モードによって異なります。顔認識、フラッシュ、セルフタイマー、マクロ、手ブレ補正のアイコンは、OSDが「オフ」になっていても、機能が「オン」になっている限り液晶モニターに表示されます。

・**再生** モード—

OSD「オン」

フル OSD「オン」



OSD「オフ」

注

撮影中、または動画クリップ再生中は、構成を変更することはできません。

カメラを使う

基本操作

カメラの電源を「オン」「オフ」にする:

1 「オン」にするには、**POWER** ボタンを押したまま「オン」になるまで待ちます。

2 「オフ」にするには、もう1度 **POWER** ボタンを押してください。

電源が切れ、レンズが引っ込み(カメラが撮影モードの場合)、電源ランプが消えます。

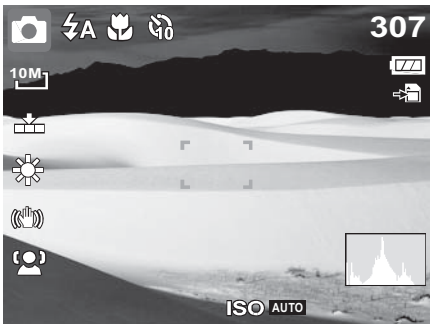
静止画を撮影する

カメラの基本的な操作をご理解いただいたので、静止画や動画をとる準備ができました。

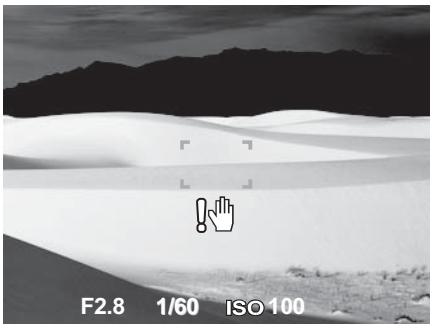
静止画を撮る:

1 **POWER**ボタンを押して、カメラの電源を「オン」にします。カメラが撮影モードになっていない場合は、カメラのアイコンが液晶モニターの左上角にでてくるまで**撮影**モードボタンを押してください。

2 液晶モニター上のフォーカスエリアを、被写体に合わせてください。



3 シャッターボタンを半押ししてください。カメラが自動的にピントと露出を調節します。カメラが静止画を撮れる状態になると、焦点マークが緑になり、絞り値、シャッタースピード、ISO値が表示されます。



4 シャッターボタンを全押しして静止画を撮ります。

注

手ブレ警告アイコンが液晶モニターにでてきたら、わきをしめて両手でカメラをしっかり持つか、または三脚を使ってカメラを安定させると、ブレのない写真が撮れます。

ズームを設定する

このカメラは、光学3倍ズーム、デジタル4倍ズームができるようになっています。

ズームを調整する:

・ズームイン (望遠) して撮るには T を押します。ズームアウト (広角) して撮るには W を押してください。

液晶パネルにズームインジケーターがでてきます。

右側のズームインジケーターは、デジタルズームを使っていることを表示します。

フラッシュを使う

逆光や暗い場所など撮影に適さない場所では、フラッシュを使用してください。この機能は動画の撮影には使用できません。

フラッシュを使う:

- カメラのフラッシュ /右 (▶) ボタンを、希望するフラッシュモードが液晶モニターにでてくるまで数回押します。

このカメラには5種類のフラッシュモードがついています。

オートフラッシュ—明かりが不十分な場所での撮影で、フラッシュが自動的に発光します。

赤目軽減—フラッシュを2回発光させます。1度目は被写体の目をフラッシュに合わせるための予備発光で、2度目に実際の撮影のために発光させます。

強制オン—明かりの状態に関係なく、撮影するたびにフラッシュを発光させます。

スローシンク (フィルフラッシュ)—遅いシャッタースピードでフレッシュを発光して撮影します。夜景の撮影などでフラッシュ発光時に背景だけが暗くなるのを軽減できます。

フラッシュオフ—明かりがどのような状態でもフラッシュは発光しません。

注

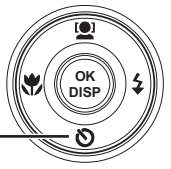
- バッテリー残量が少ないと、フラッシュの充電に時間がかかることもあります。
- スローシンクフラッシュモードを使っているときは、カメラが動かないようにしっかり持つか、または三脚を使ってください。

セルフタイマーを使う

セルフタイマーを使うと、シャッターボタンを押してから設定した時間だけ遅らせて撮影できます。記念撮影に便利です。この機能は静止画撮影時にのみ使用できます。セルフタイマーが「オン」になっていると、液晶モニターにアイコンがでています。カメラの電源を「オン」や「オフ」にすると、セルフタイマーは自動的に「オフ」になります。

セルフタイマーを「オン」にする:

1 カメラを **撮影**モードにしてください。動画撮影モードになっている場合は、撮影モードボタンを押して静止画撮影モードに切り替えます。



2セルフタイマーボタンを1度押すと、セルフタイマーが「オン」になります。もう1度押すと、セルフタイマーが「オフ」になります。

セルフタイマーが「オン」になっていると、10秒後にシャッターがおります。

3 シャッターボタンを押して静止画を撮ります。

注

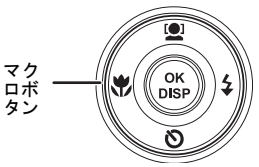
セルフタイマーを使っているときは、三脚を使うか、デジタルカメラを平らで安定した場所に置いてください。

マクロ機能を使う

このカメラには、被写体に近づいて撮るときにピントを合わせるマクロ機能がついています。

マクロ機能を使う:

1 カメラを **撮影**モードにしてください。動画撮影モードになっている場合は、撮影モードボタンを押して静止画撮影モードに切り替えます。



2 マクロ ボタンを押すと、マクロモードになります。液晶パネルにマクロアイコン が表示されます。

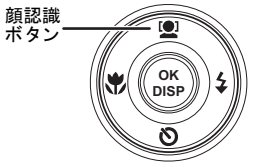
3 シャッター ボタンを押して静止画を撮ります。

4 **マクロ** ボタンをもう1度押すと、通常 (遠景) モードに戻ります。

顔認識を使う

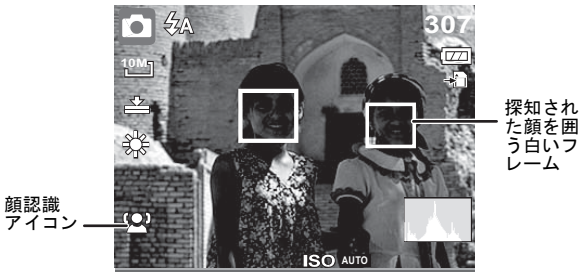
顔認識 モードは顔を検出し、カメラのピントをその顔に合わせます。この機能は複数の顔を同時に検出できますが、カメラは画面の中央に一番近い人の顔にピントを合わせます。

顔認識を使う:



1 顔認識 ボタンを押してください。液晶パネルに顔認識アイコン が表示されます。

2被写体にカメラを向けてください。顔が検知されると、白いフォーカスエリアがでてきます。



3 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。画面の中央に近い白フレームが緑に変わります。

4 シャッターボタンを全押しして静止画を撮ります。

ヒント

顔がいくつもある画面の静止画を撮るときは、カメラが顔を検出するのに時間がかかることもあります。

モードを変える

撮影 モードで静止画や動画を撮り、**再生** モードで、液晶モニター上の画像の再生、削除、編集ができます。

モードを切り替える:

- **撮影** モードで (再生) を押すと、**再生** モードになります。
- **再生** モードで (撮影) を押すと、**撮影** モードになります。

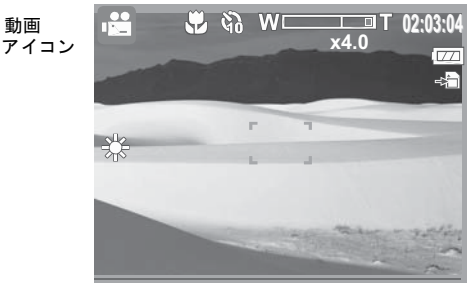
動画を撮影する

このカメラで動画を撮影できます。使える撮影時間は、内蔵メモリーまたは使っているメモリーカードの使用可能容量によって異なります。メモリーがいっぱいになるまで撮影することができます。メモリー容量の1ギガバイトに対し、15分ほどの動画撮影が可能です。

動画を撮る:

1 **POWER** ボタンを押してカメラの電源を「オン」にします。

2 (撮影)を、動画のアイコンが液晶モニターの左上にでてくるまで押します。



3 シャッターボタンを押して撮影を開始します。

- を押して、ズームインして大きく撮ったり、ズームアウトして広く撮ることができます。
- 撮影を一時停止するには、▲を押してください。
- 撮影を継続するには、▲をもう1度押してください。

4 撮影を停止するには、シャッターボタンを再び押します。

注

- 1回の記録時間には制限があります。撮影を続ける場合には、シャッターボタンをもう一度押して再開してください。
- メモリーがいっぱいになると、カメラは自動的に撮影を停止します。
- 動画の撮影時、ズーム操作中の音声は録音されません。

メニューを使う

撮影メニューを使う

撮影モードでカメラの(メニュー)を押すと、撮影メニューにいくことができます。
メニューが表示されているときに、4方向ボタンと **OK/DISP** ボタンを使って、メニューをみて希望の設定を選ぶことができます。(メニュー)をもう1度押すと、いつでもメニューを閉じることができます。

撮影メニューを使う:

1. **POWER** を押してカメラの電源を「オン」にします。
2. **撮影** モードボタンを押して、カメラが撮影モードになっていることを確認します。
3. (メニュー)を押します。撮影メニューが開きます。

4. ▼または▲を押して、項目を選択してください。
5. 右 ► または **OK/DISP** を押して、サブメニューを開きます。
6. 上 ▲ または下 ▼ を押して、項目を選択してください。
7. **OK/DISP** を押して、設定を保存します。
8. (メニュー)を再び押してメニューを閉じてください。

画質を設定する

画質機能を使って、撮影の前に静止画の画質を調整することができます。画質によって、静止画の圧縮率が決まります。圧縮率が高いと画像が粗くなります。しかし、画質が高くなると、ひとつの画像を保存するのに多くのメモリーが必要となります。

静止画像の質の設定は次の3種類があります。

アイコン	アイテム	圧縮率
	最良	4x 圧縮率
	良好	8x 圧縮率
	普通	12x 圧縮率

画像解像度設定する

解像度機能は、画像を撮影する前に解像度を設定するために使用します。解像度を変更すると、メモリーカードに保存できる画像数に影響します。解像度が高くなると、より多くのメモリースペースが必要となります。高解像度の画像は、プリントする場合などに適しています。

解像度の設定には次の種類があります。

アイコン	アイテム	画像サイズ
10M	高	3648 x 2736 (1000万画素)
7M	中	3072 x 2304 (700万画素)
3M	低	2048 x 1536 (300万画素)

ISOを設定する

ISO機能を使うと撮影環境の明るさに応じてISO感度を調整することができます。

- 暗い場所ではISOを高く、また明るい場所ではISOを低く設定してください。
- この設定は設定中に画質の変化を画面で確認できます。

- 使用できる設定:**オート**、**高** (ISO 1600)、**中** (ISO 400)、そして **低** (ISO 100)。

注

手ブレ補正機能が「オン」になっていると、ISOは自動的にオートに設定され、変えることはできません。ISOを変更するには、手ブレ補正機能を「オフ」にしてください。

ISOが高く設定されていると、画質が粗くなります。

白バランスを設定する

撮影時の光源に合わせて白バランスを調整できます。

この設定は、設定中に画質の変化を画面で確認できます。

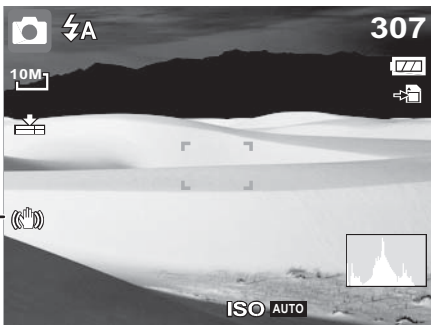
使用できる設定には次のものがあります。

アイコン	アイテム	説明
Auto	オート	カメラが自動的にホワイトバランスを調節します。
	晴れ	明るく晴れている場所に最適です。
	曇り	曇っているときに最適です。
	電球	電球または電球色のついた室内で、フラッシュなしで静止画を撮るときに適しています。
	蛍光灯	蛍光灯がついた室内で、静止画を撮るときに適しています。

手ブレ補正を使う

手ブレ補正機能を使うと、画像のブレを予防することができます。

手ブレ補正機能が「オン」になっていると、液晶モニターに手ブレ補正アイコンが表示され、ISOは自動的にオートに設定されます。詳細は11ページの "ISOを設定する" をご覧ください。



手ブレ補正が「オン」になっている。

静止画や動画を見る

静止画を見る

静止画を見る:

1. **POWER** ボタンを押してカメラの電源を「オン」にします。
2. カメラが再生モードになっていない場合は、(再生) ボタンを押して **再生** モードにしてください。

   最後に撮影した静止画または動画が液晶モニターにでてきます。保存された画像がない場合は、[画像なし]という表示がでます。
3. ◀ または ▶ を押して、保存されている静止画や動画を順に見ることができます。◀ を押すと前のファイルが、そして ▶ を押すと次のファイルがでてきます。
4. 動画を再生するには、▲を押してください。詳細は12ページの "動画を再生する" をご覧ください。

再生モードで画像をズームする

画像をズームする:

1. **T** ボタンを押すごとにズームインできます。(最大5倍)
2. ◀、▶、▲、▼ を押して、拡大表示している位置を変更できます。
3. (再生) ボタンを押すと、ズーム画像が閉まります。

動画を再生する

動画を再生する:

1. **POWER** ボタンを押してカメラの電源を「オン」にします。
2. カメラが再生モードになっていない場合は、(再生) ボタンを押して **再生** モードにしてください。

3 ◀、▶、▲または ▼ を押して、保存したファイルをスクロールして見ます。ビデオファイルは、動画のアイコンが画面の中央上にでてきます。

- 再生時に◀または ▶を押すと、早送り/早戻りします。
- 再生時に W T を押すと、音量を調節します。音量を上げるには **T** を押し、下げるには、**W** を押してください。
- ▲を押すと、再生が一時停止します。▲をもう1度押すと、再生を再開します。
- 動画を1コマづつ見るには、▲を押して動画を一時停止させ、次に◀または▶ を押すとコマ送りやコマ戻しができます。

4 ▼を押すと再生が停止します。

静止画や動画を削除する

画像を削除する

静止画や動画を削除する方法は2つあります。

- (消去) ボタンを押す... 1枚の静止画またはひとつの動画を削除することができます。
- **再生メニュー**を使う...**再生、メニュー**、そして 写真消去を押すと、1枚の画像を選択して削除したり全ての画像を削除したりできます。

(消去) ボタンでファイルを削除する:

1 **POWER** ボタンを押してカメラの電源を「オン」にします。

2 カメラが再生モードになっていない場合は、(再生) ボタンを押して **再生** モードにしてください。

3 ◀または ▶ を押すと、静止画や動画を順に見ることができます。

4 削除したい静止画や動画が液晶モニターに表示されたら、(消去) ボタンを押してください。確認画面が開きます。

5 ▼または▲ を押して **はい**を選び、次に **OK/DISP** を押して確認します。次の静止画または動画が液晶モニターにでてきます。

6 静止画や動画をさらに削除する場合は、◀ または ▶ を押して保存されている静止画や動画を順に見て、ステップ4と5を繰り返してください。

7 削除機能を止めるには、**キャンセル**を選び、次に **OK/DISP** ボタンを押してください。

注

静止画や動画をすべて削除する方法は次をご覧ください。

再生メニューを使う

再生メニューで、複数の静止画や動画を同時に削除することができます。

静止画や動画を削除する

静止画や動画を削除する:

1 **POWER** ボタンを押してカメラの電源を「オン」にします。

2 カメラが再生モードになっていない場合は、(再生) ボタンを押して **再生** モードにしてください。

3 (メニュー) ボタンを押して 再生メニューを開きます。

4 ▼または▲ を押して **写真消去**を選び、次に ▶ または **OK/DISP** を押してサブメニューを表示します。

5 **1枚**を選ぶと静止画または動画を1つ削除することができ、**全て**を選ぶと静止画または動画を全て削除することができ、**キャンセル**を選ぶと前のメニューに戻ります。

6 **1枚**を選んだ場合は、▶ または ◀ を使って削除したい静止画や動画を選んでください。確認ボックスが開きます。
- ▲を押して **はい**を選び、次に**OK/DISP**を押します。静止画または動画は削除され、次の画像ファイルが表示されます。
- ▶ または ◀ を押してファイルをスクロールして削除するファイルを選択してください。キャンセルを押すと再生モードに戻ります。

7 **全て**を選んだ場合は、▼ または ▲ を押して**はい**を選び、次に **OK/DISP**を押します。完了と表示される全てのデータが消去されます。

注意

「全て」を選ぶと、メモリーカード全体をフォーマットします。そうすると、このカメラで撮った静止画や動画だけではなく、メモリーカードに入っていた全てのファイルが消去されてしまいます。

動画や静止画をメモリーカードにコピーする

動画や静止画をメモリーカードにコピーする:

1 カメラにメモリーカードが入っていない場合にはカメラの電源を「オフ」にして、4 ページの指示に従ってメモリーカードを挿入してください。

2 **POWER** ボタンを押して、**撮影**モードでカメラの電源を「オン」にします。

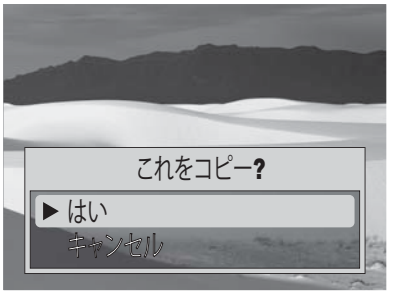
3 (再生) ボタンを押して **再生**モードに切り替えます。

4 ◀ または ▶ を押すと、静止画や動画を順に見ることができます。

5 (メニュー) ボタンを押して 再生メニューを開きます。

6 ▼または▲を押して **カードにコピー**を選び、次に ▶ または **OK/DISP** を押してください。

7 ▼または▲を押して **1枚**(現在見ているファイル)または **全て** (全てのファイル)を選び、次に **OK/DISP** を押してください。確認ボックスが開きます。



8 ▼または▲を押して **はい**を選び、次に **OK/DISP** を押します。

確認メッセージが表示され、次にコピーの手順が再び表示されます

9 **メニュー** ボタンを押して、再生モードに戻ります。

セットアップとツールメニューを使う

セットアップメニューを使う

セットアップメニューの起動/操作方法:

1 **POWER** ボタンを押して、**撮影** モードでカメラの電源を「オン」にします。

2 (メニュー) を押します。撮影メニューが開きます。

3 ◀または▶ を押してセットアップアイコン を選びます。セットアップ メニューが開きます。

4 ▼ または ▲ を押して、希望する項目を選択してください。

5 右 ▶ または **OK/DISP** を押してサブメニューを表示します。

6 上 ▲ または下 ▼ を押して、設定を変更します。

7 **OK/DISP** を押して設定を保存します。

操作音を「オン」または「オフ」にする

セットアップメニューを使って、操作音を「オン」や「オフ」にすることができます。

操作音を「オン」または「オフ」にする:

1 **POWER** ボタンを押してカメラの電源を「オン」にします。

2 カメラが撮影モードになっていない場合は、**撮影** モードボタンを押して撮影モードに切り替え、次に (メニュー) を押してください。撮影メニューが開きます。

3 ◂または▸ を押してセットアップアイコン を選びます。セットアップ メニューが開きます。

4 ▼または▲ を押して **操作音を選択**し、次に右 ▸ または **OK/DISP** を押して決定します。

5 上 ▲ または下 ▼ を押して、**On** または **Off**を選んでください。

6 **OK/DISP** を押して設定を保存します。

クイック表示を設定する

クイック表示機能を使うと撮影直後に撮影した静止画の確認ができます。撮影直後に約1秒間、液晶モニターに撮影した静止画が表示されます。

クイック表示を「オン」または「オフ」にする:

1 **POWER** ボタンを押してカメラの電源を「オン」にします。

2 カメラが撮影モードになっていない場合は、**撮影** モードボタンを押して撮影モードに切り替え、次に (メニュー) を押してください。撮影メニューが開きます。

注

クイック表示設定を替えるには、簡略モードが「オフ」になっていなければなりません。簡略モードを「オフ」にする方法は、5ページをご覧ください。

3 ◂または▸ を押してセットアップアイコン を選びます。セットアップ メニューが開きます。

4 ▼または▲ を押して **クイック表示**を選択し、次に右 ▸ または **OK/DISP** を押して決定します。

5 上 ▲ または下 ▼ を押して、**On** または **Off**を選んでください。

6 **OK/DISP** を押して設定を保存します。

日付スタンプを設定する

日付スタンプ機能を使うと、静止画に撮影した日付と時刻を入れることができます。この機能が「オン」になっていると、液晶モニターに アイコンがでています。

撮影日時は、本機に設定されている日時を基準に記録されます。静止画に入った日付や時刻は、後で編集・削除することはできません。次の点にもご注意ください。

- 動画には撮影日時を写しこむことはできません。
- 日付スタンプ機能を使用している時は、デジタルズームは使用できません。
- 撮影日時は、カメラを縦にして撮影した場合でも、横にして撮影した場合と同じ位置に入ります。

日付スタンプを設定する

1 **POWER** ボタンを押してカメラの電源を「オン」にします。

2 カメラが撮影モードになっていない場合は、**撮影** モードボタンを押して撮影モードに切り替え、次に (メニュー) を押してください。撮影メニューが開きます。

3 ◂または▸ を押してセットアップアイコン を選びます。セットアップメニューが開きます。

4 ▼または▲を押して **日付スタンプ**を選択し、次に右 ▸ または **OK/DISP** を押して決定します。

5 上 ▲または下 ▼ を押して **日付、日付 & 時刻**、または **Off**を選びます。

6 **OK/DISP** を押して設定を保存します。

電力節約を設定する

本機には電力節約機能がついています。一定時間カメラの操作をしないと自動的に電源が切れます。

- **On**—カメラを2分間使用しないと、電源を「オフ」にします。
- **Off**—カメラを10分間使用しないと、電源を「オフ」にします。

電力節約を設定する:

1 **POWER** ボタンを押してカメラの電源を「オン」にします。

2 カメラが撮影モードになっていない場合は、**撮影** モードボタンを押して撮影モードに切り替え、次に (メニュー) を押してください。撮影メニューが開きます。

3 ◂または▸ を押してセットアップアイコン を選びます。セットアップメニューが開きます。

4 上▼または下▲を押して **電力節約**を選択し、次に右 ▸ または **OK/DISP** を押して決定します。

5 上 ▲ または下 ▼ を押して、**On** または **Off**を選んでください。

6 **OK/DISP** を押して設定を保存します。

注

電力節約設定を替えるには、簡略モードが「オフ」になっていなければなりません。簡略モードを「オフ」にする方法は、5ページをご覧ください。

ツールメニューを使う

ツールメニュー起動/操作方法:

1 **POWER** ボタンを押してカメラの電源を「オン」にします。

2 カメラが撮影モードになっていない場合は、**撮影** モードボタンを押して撮影モードに切り替え、次に (メニュー) を押してください。撮影メニューが開きます。

3 ◂または▸ を押してツールアイコン を選びます。ツールメニューが開きます。

4 ▼または▲を押して、希望する項目を選択してください。

5 右 ▶ または **OK/DISP** を押してサブメニューを表示します。

6 上 ▲ または下 ▼ を押して、設定を変更します。

7 **OK/DISP** を押して設定を保存します。

メニュー言語を選ぶ

5ページの “表示言語を選ぶ” をご覧ください。

使用する電池の種類を設定する

バッテリー残量表示の誤差を少なくするために、ご使用になる電池の種類を設定してください。異なった電池の種類を選択するとバッテリー残量表示の誤差が大きくなります。

- このカメラには必ず、アルカリ、ニッケル水素、またはリチウム電池を使ってください。

注

電池の種類設定を換えるには、簡略モードが「オフ」になっていなければなりません。簡略モードを「オフ」にする方法は、5ページをご覧ください。

電池の種類を選ぶ:

1 **POWER** ボタンを押して、**撮影** モードでカメラの電源を「オン」にします。

2 (M) (メニュー) を押します。撮影メニューが開きます。

3 ◀または▶ を押してツールアイコン を選びます。ツール メニューが開きます。

4 ▼または▲を押して**電池の種類**を選択し、次に右 ▶ または **OK/DISP** を押して決定します。

5 上 ▲ または下 ▼ を押して電池の種類を選び、**OK/DISP**を押します。

ヘルプ表示を「オン」にする

ヘルプ表示機能が「オン」になっていると、メニューアイテムを選択した時に、ヘルプ表示が画面の下の方でスクロールします。選択したアイテムに関する説明です。

注

ヘルプ表示設定を替えるには、簡略モードが「オフ」になっていなければなりません。簡略モードを「オフ」にする方法は、5ページをご覧ください。

ヘルプ表示を「オン」にする:

1 **POWER** ボタンを押してカメラの電源を「オン」にします。

2 カメラが撮影モードになっていない場合は、**撮影** モードボタンを押して撮影モードに切り替え、次に (M) (メニュー) を押してください。撮影メニューが開きます。

3 ◀または▶ を押してツールアイコン を選びます。ツールメニューが開きます。

4 ▼または▲を押して **ヘルプ表示**を選択し、次に右 ▶ または **OK/DISP** を押して決定します。

5 上 ▲ または下 ▼ を押して **On** または **Off**を選び、次に **OK/DISP**を押します。

カメラを初期設定に戻す

この機能を使用すると、本機の設定を初期設定 (工場出荷状態) に戻せます。次の設定は、初期設定に戻しません。

- 日付と時刻
- 言語

- 電池の種類

注

- カメラを初期設定 (工場出荷状態) に戻すには、簡略モードが「オフ」になっていなければなりません。簡略モードを「オフ」にする方法は、5ページをご覧ください。
- カメラを初期設定に戻しても、カメラの内蔵メモリーやメモリーカード (挿入されている場合)に保存されている静止画や動画は消去されません。

カメラを初期設定に戻す:

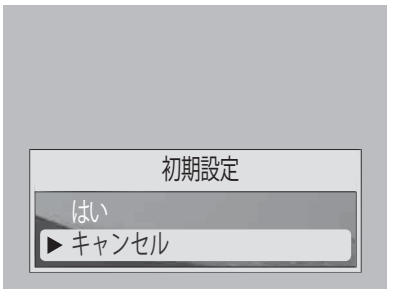
1 **POWER** ボタンを押してカメラの電源を「オン」にします。

2 カメラが撮影モードになっていない場合は、**撮影** モードボタンを押して撮影モードに切り替え、次に (メニュー) を押してください。撮影メニューが開きます。

3 ◀または▶ を押してツールアイコン を選びます。ツールメニューが開きます。

4 ▼または▲ を押して**初期設定**を選択し、次に右▶ または **OK/DISP** を押して決定します。

5 上 ▲または下▼ を押して **はい**を選び、次に **OK/DISP** を押します。確認ボックスが開きます。



6 上 ▲または下▼ を押して**はい**を選び、次に **OK/DISP** を押します。操作が完了すると、"完了" という確認メッセージがちょっとの間表示されます。

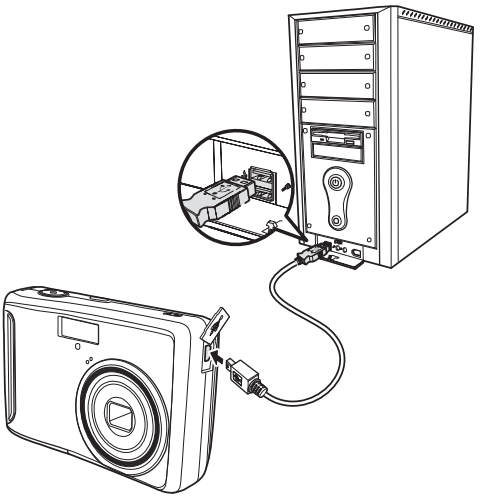
接続する

デジタルカメラをパソコンに接続して、カメラの内蔵メモリーまたはメモリーカードからファイルをパソコンに転送することができます。

カメラをパソコンに接続する

カメラをパソコンに接続する:

1 付属のUSBケーブルで、カメラをパソコンに接続します。



2 カメラの電源を「オン」にします。

パソコンが接続を認識すると、カメラの内蔵メモリーとメモリーカードがパソコンのファイル管理画面にリムーバブルディスク（Windowsの場合）としてでてきます。カメラの液晶パネルには画像がでてきません。

注

カメラからメモリーカードを外してメモリカードリーダー (別売) に差し込む方法でも、ファイルをパソコンに移すことができます。

トラブルシューティング

問題	原因	解決策
電源が入らない	電池の挿入方法が間違っている。	電池を正しく挿入してください。
	電池残量が無い。	電池を新しいものと交換するか、ニッケル水素電池を使っている場合は充電してください。
	バッテリーカバーが開いている。	バッテリーカバーが閉まっていることを確認してください。
カメラ電源が自動的に「オフ」になる。	このカメラは、電池の寿命を延ばすために、自動的に「オフ」になるように設計されている。	どのボタンでも構いませんから (POWERボタン以外)押すと、カメラが「オン」になります。

問題	原因	解決策
液晶モニターが「オフ」になってしまう。	このカメラは、電池の寿命を延ばすために、自動的に「オフ」になるように設計されている。	Powerボタンを押すと、カメラが「オン」になります。
液晶モニターに空の電池のアイコンが表示され、カメラが「オフ」になる。	電池残量が無い。	電池を新しいものと交換するか、ニッケル水素電池を使っている場合は充電してください。
液晶モニターに“画像なし”とでてくる。	内蔵メモリーまたはメモリーカードに画像が保存されていない。または本機で再生できない画像ファイルを再生しようとしている	画像データが入っているSDカードを挿入してください。内蔵メモリーのデータを再生する場合は、SDカードを取り外してください。パソコンでファイル名を変更した画像や他のカメラで撮影した画像は、再生できない場合があります。本機で再生できない場合には、パソコンを使用して画像を確認してください。(18 ページ参照)
液晶モニターに“このファイルはご利用できません”と表示される。	選択した機能は、特定のファイルタイプでのみ使用できる。そのファイル形式はサポートされていない。	別のタイプの形式を選んでください。
液晶モニターに“空きメモリなし”と表示される。	内蔵メモリーまたはメモリーカードの容量がいっぱい。	メモリーカードを交換するか、いらない画像を削除してください。
液晶モニターに“カードがロックされている”と表示される。	メモリーカードがプロテクトされている。	カメラの電源を「オフ」にしてからメモリーカードを取り出し、カードの書き込み禁止スイッチをロック解除の位置に動かしてください。
液晶モニターに“カードがロックされている”と表示される。	メモリーカードがプロテクトされている。	カメラの電源を「オフ」にしてからメモリーカードを取り出し、カードの書き込み禁止スイッチをロック解除の位置に動かしてください。
液晶モニターに“コピーエラー”と表示される。	メモリーカードがプロテクトされている。 メモリーカードの容量がいっぱい。	カメラの電源を「オフ」にしてからメモリーカードを取り出し、書き込み禁止スイッチをロック解除の位置に動かしてください。 メモリーカードを交換するか、いらないファイルを削除してください。
レンズが収納されない。	レンズは無理に収納させないこと。間違った種類の電池を取り付けたか、またはバッテリー残量が少なすぎる。	電池を新しいものと交換するか、ニッケル水素電池を使っている場合は充電し、POWERボタンをレンズが収納するまで押し続けてください。

問題	原因	解決策
カメラで静止画が撮れない。	フラッシュが充電中。	フラッシュが充電されるのを待ってください。
	メモリー容量がいっぱい。	新しいメモリーカードを挿入するか、またはいらない静止画や動画を削除してください。
	メモリーカードが正しくフォーマットされていない。	カードに問題がある可能性があります。新しいカードを挿入してください。またはメモリーカードを本機でフォーマットしてください。
シャッターを押しても撮影できない。	フラッシュが充電中。	フラッシュが充電されるのを待ってください。
	メモリー容量がいっぱい。	新しいメモリカードを挿入してください。
フラッシュが発光しない。	フラッシュが「オフ」に設定されている。	フラッシュを別のモードに設定してください。
画像がブレている、またはピントが合っていない。	画像を撮影したときにカメラが動いた。	静止画を撮るときカメラをしっかり持つか、または三脚に取り付けてください。
	被写体が、ピントが合う範囲から外れている。	被写体が5 - 15.75 インチ (15 - 40 cm) の範囲にある場合には、マクロモードを「オン」にしてください。 遠くを撮るときは、マクロモードを使わないでください。
画像が液晶モニターに表示されない。	互換性がない静止画や動画 (別のカメラで撮った)が入ったメモリーカードが、カメラに入っている。	このカメラは、互換性のない画像を表示することはできません。
撮影された画像がメモリーに保存されていない。	画像をメモリーに保存する前に、カメラの電源が「オフ」になった。	バッテリーの残量が少ないという表示が液晶モニターに表示されたら、すぐに電池を交換してください。
カードエラー	メモリーカードが正しくフォーマットされていない。	メモリーカードを本機でフォーマットしてください。

仕様

仕様は予告なく変更される場合があります。

センサー	1000万画素 (有効画素数998万画素) 1/2.3型 CCD
液晶モニター	2.5型カラー液晶モニター
焦点範囲	オート: 0.178 m ~ ∞ マクロ: 0.13 m ~ 1.22 m (T) 0.25 m ~ 1.52 m
絞り	f/2.8 (W) / f/5.2 (T)
シャッター	メカニカルシャッター /電子シャッター 1 - 1/2000 秒

レンズ	焦点距離:f/6.2 (W) - 18.6 mm (T)、光学3倍ズーム、デジタル4倍ズーム
ファイル形式	静止画:EXIF 2.2準拠 JPEG 動画:AVI (Motion JPEG)
解像度 (静止画)	1000万画素 (3648 x 2736)、700万画素 (3072 × 2304)、300万画素 (2048 × 1536)
感度	オート、ISO 100、ISO 200、ISO 400、ISO 800、ISO 1600 低/中/高: 100 / 400 / 800
ホワイトバランス	オート、晴れ、曇り、電球、蛍光灯
露出補正	-2EV - +2EV、1/3 ステップ、オート露出
測光方式	マルチ 顔認識AE & AF
セルフタイマー	10秒または「オフ」
フラッシュ	オート、赤目軽減、スローシンク、強制オン、強制オフ
ストレージ	内蔵メモリー : 32 MB 静止画/動画用ストレージ: 約20 MB 外部メモリー : SD カード (最高4 GB)、SDHC カード (最高 16 GB)
言語	英語、中国語 (簡体字)、フランス語、日本語、スペイン語
インタフェース	USB ケーブル
電源	単三電池2個(アルカリ/ニッケル水素/リチウム) レベル: 十分/半分/低い
操作温度	32°F - 104°F (0°C - 40°C)
操作湿度	0% - 90%
マイク	内蔵
スピーカー	内蔵
寸法	1 × 2.44 × 3.66 インチ (2.8× 6.2 × 9.3 cm)
質量	約 0.30 lb. (140 g) (電池無し)

仕様は、予告なく変更される場合があります。

付録

フォルダーとファイル名について

このデジタルカメラは、フォルダーのディレクトリーを内蔵メモリーまたはメモリーカードに自動的に作成します。静止画、動画、その他のインフォメーションを管理するのに、このフォルダーを使います。

フォルダーの構造

全ての動画や静止画の画像は、メインDCIMフォルダーに入っています。サブフォルダーの名前は3桁の番号で始まり、その後に"DICAM"がつきます。新しいファイルを作成すると、次の新しいフォルダー名が自動的につけられます。

ファイル名

ファイル名は"DSCI"で始まり、次に4桁の番号が順次与えられます。新しいフォルダーを作成すると、ファイル番号は 0001 から始まります。

フォルダーの最高番号が999、そしてファイルの最高番号が9999を超えると、カメラは"フォルダ作成不可能"という警告メッセージを表示します。その場合には、いらない静止画や動画を削除するか、またはメモリーカードを交換してください。

注

パソコンで、フォルダー名やファイル名を変更しないでください。変更すると、デジタルカメラでファイルを再生できないことがあります。

法的通知

FCC 第15部

この機器は FCC 規定第 15 部を順守しています。この製品の操作は、次の2つの条件を前提としています:(1) この機器は有害な干渉の原因とはならず、(2) この機器は、望ましくない操作の原因となる干渉を含む、どのような干渉をも受け入れなければならない。

この機器はテストされ、FCC 規定第15部、クラス B デジタル機器の制限に適合するという結果がでています。このような制限は、居住地での設置における有害な干渉に対して妥当な保護を与えることを目的としています。この機器は、無線周波エネルギーを生み出し、使い、放射することができ、指示に従って設置・使用されない場合には、無線通信に対して有害な干渉の原因となることもあります。しかし、そのような干渉が特定の設置で起きないという保証はありません。この機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を起こすようなら (機器を「On」「Off」にしてみると分かる)、ユーザーは次の方法をいくつか試みてその干渉を修正してください:

- 受信アンテナの方向や場所を変える。
- 機器とレシーバーの距離を離す。
- 機器を、レシーバーが接続されている回路と異なる回路のコンセントに接続してみる。
- ディーラーまたは経験豊富な技術者に相談する。

FCC 警告

FCC 規定の順守に責任がある当事者によって明確に承認されていない変更や修正を行うと、ユーザーのこの機器の操作権限が無効になる可能性があります。

カナダ ICES-003 記述

このクラス B デジタル器具は、カナダ ICES-003 を順守しています。

INSIGNIA™

www.insigniaproducts.com (877) 467-4289

ディストリビュータ: Best Buy Purchasing, LLC
7601 Penn Avenue South, Richfield, MN USA 55423-3645

© 2009 Best Buy Enterprise Services, Inc.
版権所有。INSIGNIA は Best Buy Enterprise Services, Inc. の商標です。国によっては登録されているところもあります。
他のすべての製品やブランド名は、それぞれの所有者の商標です。

日本語
09-1138